

「インクの魔法」 金子祥代著

書家の金子は、7歳から書をはじめ、中国古典の臨書などに打ち込んできた。この本では、現代アートとしての書の可能性を追究している。「インクの魔法」や「フレンズ」など四つの物語を創作し、

墨で絵を付けた。墨の伸びやかな線やにじみが、イメージを自由に膨らませてくれる。30日まで大阪・心斎橋のカフェ併設の書店「スタンダードブックストア」で、原画を展示している。

(幻冬舎ルネッサンス、税別2800円)

